資料2－①

R5 生徒用

		生徒（回収率 全体:84.1%） 【参考(昨年度)：回収率 全体:86.1%】						
分類	番号	質問内容	R3	R4	R5	前年比	目標値	
全般	1	東住吉総合に入ってよかったと思う。	72.3%	76.6%	85.3%	8.7%		
全般	2	自分の学級は楽しい。	77.1%	80.2%	84.5%	4.3%		
全般	3	学校生活で挨拶ができる。			91.0%			
全般	4	先生は、他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。	82.0%	81.0%	80.4%	-0.6%		
			80.1%	**82.1%**	**85.3%**	**3.1%**		
総合学科	5	総合学科の仕組み選択科目の選び方がよくわかる。	83.7%	86.0%	87.1%	1.1%		
			83.9%	**85.0%**	**87.1%**	**2.2%**		
学習指導	6	授業はわかりやすく楽しい。	58.3%	69.8%	75.7%	5.9%		
学習指導	7	先生は、授業でわからないことについて丁寧に対応してくれる。			84.5%			
学習指導	8	生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について工夫している。	74.1%	80.2%	81.0%	0.8%		
学習指導	9	教え方に工夫をしている先生が多い。	72.4%	81.9%	83.6%	1.7%	70.0%	
学習指導	23	学校は一人一台端末を効果的に活用している。			89.8%			
			74.3%	**81.3%**	**82.9%**	**1.6%**	75.0%	*
生徒指導	10	先生は、生徒の話をよく聞いてくれる。	79.4%	83.2%	84.3%	1.1%		
生徒指導	11	学校生活についての先生の指導には納得できる。	63.2%	65.2%	69.9%	4.7%		
生徒指導	12	学校では、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。	82.5%	83.9%	82.8%	-1.1%	77.0%	*
生徒指導	13	先生は、いじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる。	82.8%	83.5%	83.0%	-0.5%		
			78.4%	**80.6%**	**80.0%**	**-0.5%**		
自主活動	14	部活動に積極的に取り組んでいる。	62.7%	65.1%	63.8%	-1.3%	65.0%	*
自主活動	15	文化祭、体育祭は楽しく行えるよう工夫されている。	83.0%	87.0%	80.6%	-6.4%	80.0%	*
			74.7%	**77.5%**	**72.2%**	**-5.3%**		
進路指導	16	将来の進路や生き方について考える機会がある。	89.4%	89.7%	89.4%	-0.3%		
進路指導	17	学校は、進路についての情報を知らせてくれる。	87.6%	88.5%	89.6%	1.1%		
			88.5%	**89.1%**	**89.5%**	**0.4%**		
人権教育	18	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	90.9%	86.8%	88.5%	1.7%		
人権教育	19	授業などで、豊かな心や人の生き方について考える機会がある。	85.0%	83.2%	84.5%	1.3%	73.0%	*
人権教育	20	人権について学ぶ機会がある。	94.5%	90.3%	90.6%	0.3%		
			88.0%	**85.2%**	**87.9%**	**2.7%**		
教育相談	21	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。	76.9%	79.4%	81.6%	2.2%		
教育相談	22	担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談できる先生がいる。	69.6%	70.3%	73.0%	2.7%		
			73.3%	**74.9%**	**77.3%**	**2.5%**	70.0%	*

*学校経営計画評価指標

平均	**80.2%**	**81.9%**	**82.8%**

資料2－②

R5保護者用

分類	番号	保護者（回収率　全体:66.5%）【参考(昨年度):全体:66.2%】 質問内容	R3	R4	R5	前年比	目標値
全般	1	子どもは、東住吉総合に入学してよかったと思う。	72.7%	71.3%	91.5%	20.2%	
全般	2	学校の教育方針について、理解している。	72.0%	64.0%	85.5%	21.5%	
全般	3	学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	75.7%	68.7%	82.9%	14.2%	
			78.7%	**69.8%**	**86.6%**	**16.8%**	
総合学科	4	総合学科の仕組みや選択科目の選び方がよくわかる。	78.7%	75.5%	85.5%	10.0%	
総合学科	5	系列や科目選択の決定についての情報提供は十分であった。	75.6%	72.0%	86.0%	14.0%	
			77.0%	**73.5%**	**85.8%**	**12.3%**	
学習指導	6	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	60.2%	54.4%	69.1%	14.7%	
			69.6%	**63.6%**	**69.1%**	**5.5%**	
生徒指導	7	学校の生徒指導の方針に共感できる。	73.7%	60.8%	75.1%	14.3%	
			79.3%	**70.7%**	75.1%	**4.4%**	
自主活動	8	学校は、文化祭や体育祭などの学校行事に積極的に参加できるよう工夫されている。	81.3%	69.7%	82.7%	13.0%	
			78.2%	**67.8%**	**82.7%**	**15.0%**	
進路指導	9	学校は、将来の進路や職業などについて、適切な指導を行っている。	83.6%	75.0%	87.8%	12.8%	
			83.6%	**75.0%**	**87.8%**	**12.8%**	
参画	10	この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	37.3%	36.7%	51.5%	14.8% ―	62.0% *
			56.0%	**51.5%**	**51.5%**	**0.1%**	
人権教育	11	学校は、子どもに命を大切にする心や、社会ルールを守る態度を育てようとしている。	82.8%	75.2%	80.0%	4.8%	
			82.8%	**75.2%**	**80.0%**	**4.8%**	
教育相談	12	学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。	82.3%	71.8%	86.6%	14.8%	
			77.5%	**69.8%**	**86.6%**	**16.8%**	
情報提供	13	学校のホームページ等の教育情報発信は役立っている。	78.7%	68.7%	70.0%	1.3%	
			78.7%	**68.7%**	**70.0%**	**1.3%**	

*学校経営計画評価指標

平均	75.4%	67.8%	77.3%

資料2－③

R5教職員用

分類	番号	教職員用（回収率 75.8%）【参考（昨年度）：75.8%】 質問内容	R3	R4	R5	前年比	目標値
全般	1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	81.5%	87.2%	86.8%	-0.4%	
全般	4	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	68.5%	72.3%	76.3%	4.0%	
全般	5	教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	62.9%	74.5%	60.5%	-14.0%	70.0% *
全般	6	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。	64.8%	63.8%	57.9%	-5.9%	60.0% *
全般	7	この職場においては、教職員の服務規律への自覚が高い。	77.8%	72.3%	68.4%	-3.9%	
			74.9%	**76.3%**	**70.0%**	**-6.3%**	
総合学科	9	生徒の進路に繋がるように系列や科目選択を指導している。	94.5%	91.5%	86.8%	-4.7%	
総合学科	20	この学校の教育活動には、他の学校にない特色がある。	88.9%	72.4%	84.2%	11.8%	
			83.8%	**80.9%**	**85.5%**	**4.7%**	
学校経営	14	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	53.7%	46.8%	42.1%	-4.7%	60.0% *
学校経営	15	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	72.2%	74.5%	65.8%	-8.7%	
学校経営	19	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。	88.9%	85.1%	73.7%	-11.4%	
			70.8%	**66.9%**	**60.5%**	**-6.4%**	
学習指導	21	生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について工夫している。	90.8%	87.2%	86.8%	-0.4%	
学習指導	26	学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。	81.4%	72.3%	65.8%	-6.5%	80.0% *
学習指導	27	コンピュータ等のICT情報機器が、授業などで活用されている。	94.4%	95.7%	89.5%	-6.2%	
			84.4%	**84.2%**	**80.7%**	**-3.5%**	
生徒指導	29	生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。	77.7%	87.3%	86.8%	-0.5%	
生徒指導	31	この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	74.1%	76.6%	71.1%	-5.5%	
			80.1%	**84.1%**	**78.9%**	**-5.1%**	
自主活動	33	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	79.6%	93.6%	71.1%	-22.5%	
			73.6%	**77.7%**	**71.1%**	**-6.6%**	
進路指導	36	この学校では、生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている。	79.6%	85.1%	71.1%	-14.0%	80.0% *
進路指導	38	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	90.7%	91.5%	84.2%	-7.3%	
			83.3%	**86.5%**	**77.6%**	**-8.9%**	
地域連携	39	保護者や地域の人々と接する機会を設けている。	83.3%	91.5%	86.8%	-4.7%	85.0% *
			83.3%	**91.5%**	**86.8%**	**-4.7%**	
人権教育	44	人権HRにおいて様々な人権の課題を理解し、差別や偏見のない社会を目ざし学習をしている。	87.1%	91.4%	78.9%	-12.5%	
人権教育	45	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	79.6%	85.1%	94.7%	9.6%	
人権教育	46	インターネットによる人権侵害や性的マイノリティの人権など現代的教育課題を教育活動に積極的に取り入れている。	70.3%	80.8%	73.7%	-7.1%	
			78.6%	**80.5%**	**82.5%**	**1.9%**	
教育相談	47	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	90.8%	93.7%	92.1%	-1.6%	
			90.8%	**93.7%**	**92.1%**	**-1.6%**	
情報提供	49	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	85.1%	87.2%	81.6%	-5.6%	
			88.0%	**91.5%**	**81.6%**	**-9.9%**	
							*学校経営計画評価指標
		平均	**78.6%**	**80.2%**	**78.9%**		

令和５年度　学校教育自己診断

【生徒】（資料２－①参照）

○「学習指導」「人権教育」「教育相談」については。すべての項目で生徒の肯定的回答割合は増加した。

・「人権教育」については、今年度もすべて高い数値。

・「授業はわかりやすく楽しい」の項目について、肯定的回答は前年度からの急上昇を受けながらも、5,9%上昇し75.7%となる。

・「教え方に工夫している先生が多い」の項目について、同じく 1.7%増加し83.6%になる。

・「一人一台端末を効果的に活用している」についても 89.9%と高い数値を示している。

○全体として８０%を超える項目が増えており、生徒が活動していく中で満足のいく支援体制をこれからも続けていきたい。

○「生徒指導」については昨年よりも0.5%減少しているので、生徒対応について、きめ細やかに整えていく必要がある。

○「自主活動」については5.3%減少しており、部活動・生徒会活動をもっと活発にしていくようにしたい。

○「教育相談」に関してはSC・SSWを活用した教育相談体制をとっており、保健室と教育相談委員会との連携をとりながら、生徒一人一人の気持ちに寄り添い対応していくことで生徒の肯定率が2.5%増加した。

【保護者】（資料２－②参照）

○「授業参観・学校行事への参加」
昨年度よりは 14.8%増加したが、目標値（62%）までは到達していないので、これからも公開授業週間の実施や行事について保護者が参加しやすいようにしたい。

○全体的に数値が昨年度より9.5%増加した。特に「東住吉総合に入学してよかった」　と回答した保護者が昨年度よりも20.2%大幅に増加したことは、これからも学校として真摯に生徒と向き合い、保護者と連携をとることが一層必要であると考える。

【教職員】（資料２-③参照）

○肯定的回答の割合が大きく増加した項目は
・「教育活動全般の評価を行い次年度への計画に生かしている」：４％増加、76.3%
・「教育活動に特色がある」：11.8%増加、84.2%
・「いじめが起こった時の対応体制」：9.6%増加、94.7%
○肯定的回答が大きく減少した項目は
・「校内研修は教育実践に役立つような内容となっている」：11.4%減少
・「人権 HR において様々な理解と学習」：12.5%減少
○目標値を達成できなかった項目
・「教職員の相互理解」：14.0%減少　60.5%（目標値 70.0%）
・「各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ有機的に機能している」：4.7%減少　42.1%　（目標値 60.0%）
・「この学校では生徒が望ましい勤労化・職業観を持つようなことが出来るキャリア教育を行っている」：14.0%減少　71.1%（目標値 80.0%）

様々な事象が起こった時の対応力については、数値が増加しているのは、教員の意識改革がなされ躍動感のある対応が出来てきていると思われる。しかし「各分掌や各学年間の連携と有機的機能」は昨年度に引き続き本校の課題である。この課題ついては今後も相互理解を持ち、本校の課題に対して教職員の共通理解を図るように調整するよう支援していく。

まとめ

これからも、教育活動に必要な情報についての生徒・保護者への周知に努めることが必須である。また、家庭環境や経済状況が厳しさを増す中、教員が生徒の生活に寄り添ったかかわりが必要とされるであろう。進路実現に向けても、キャリア教育をいかに充実したものとするかが今後のキーポイントとなる。急激に社会が変化していく現在、生徒たちに求められるものは何なのかを考えながら寄り添い指導していくことが学校力につながると考える。